

6年生 レベルアップ計画

④

②から③へどうやったらいける？

キーワード

自信と行動でつなぐ北小のリーダー

テーマ

自信をもって行動し、みんなの背中を押す6年生に。
→失敗を恐れず、挑戦からつながるリーダーへ。

柱1

自分で考え、動く力をつけよう！

柱2

声と表情で伝える力をつけよう！

柱3

仲間とつながり、支え合う力をつけよう！

①

6年生とは？

北小学校の顔

北小学校を支える存在

③

6年生が目指す姿は？

金

全員が自分で考え、行動する。
自信がなくても失敗しても行動してみる。
常に声の大きさを意識する
(相手に届く声、上向きの声の意識)

銀

自分で考え、動ける人が増える。
自信がないときは、周りに相談しながら、行動してみる。
見えるところに声の大きさの掲示をする。

銅

声をかける場面を増やし、行動できるようにする。
行動してみようという声掛けをする。
声の大きさについて、その都度声掛けをする。

⑤

②

6年生の現状はどうなっている？

(強み)

- ・他学年の面倒をよく見ている。
- ・率先して自ら動いている(率先垂範)。
- ・凡事徹底ができています。
- ・よく考えて行動している。
 - ・自分たちの良さを生かして行事に参加している。(一生懸命さ、真面目さ)
- ・何事も継続して行うことができる。
- ・素直に受け入れ、実行することができる

(弱み)

- ・新しく行う場面や、授業の中で誰かが動き出すのを待っている。(返事、提出、動き出し)
- ・一定の人が前に出るのを待っている。
- ・声が小さい。

ねらい

手立て

柱1

誰かが動くのを待つのではなく、「自分がやる」という意識でいる。

「まず自分がどうするか」を考えてから行動する。
学級会や行事準備で「自分発」の意見や提案をする。
「行動した人」を全体で称える。

柱2

相手に届く声・姿勢を意識し、リーダーらしい発信ができるようにする。

朝の会や発表で「上向きの声」を意識する練習。
「声の見える化」掲示を使って、日常的に意識づける。
ペアやグループでの声かけ活動
(互いに「聞きやすい声」をフィードバック)。

柱3

自信がない時でも、仲間と支え合いながら一歩踏み出せる集団をつくる。

振り返りの場で「仲間の良い行動」を見つけ、言葉で伝える。
行事や日常で「チームとしての成長」を意識して振り返る。